

昭和62年度 和歌山県文化奨励賞

さわ かず き
澤 和 樹

住 所：東京都杉並区

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：昭和30年

◎業績及び経歴

4歳の頃より、ヴァイオリンを始め、昭和44年、第23回学生音楽コンクール・ヴァイオリン部門中学校の部第1位など、年少の頃より才能を発揮する。東儀祐二氏外に師事。

県立桐蔭高校卒業後、昭和48年東京芸術大学音楽学部、昭和52年同大学院に進み、その間、昭和51年「安宅賞」受賞。昭和52年ロン・ティボー国際コンクール第4位入賞、同時にイザイ特別賞受賞。ヴァニアフスキー国際コンクール第6位入賞など、国内外で数々の賞を受賞する。

氏は、卒業後は東京芸術大学において教鞭をとり後進を指導するほか、昭和54年フランス「ボルドーの春」フェスティバルにおいて金メダルを獲得。昭和55年より文化庁芸術家派遣在外研修員としてロンドンに留学し、ジョージ・パウク、ベラ・カトーナの両氏に師事。昭和57年ロンドンのウィグモアホールにてデビューリサイタルを開催し、絶賛される。昭和58年ミュンヘン国際コンクール二重奏部門で第3位入賞。昭和60年(財)南葵育英会より助成金を受け「J・S・バッハ ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ全曲演奏会」を開催し、好評を博す。同年、ニューヨークのカーネギーホールにて日本の現代作品を初演し、ニューヨークタイムズなどで絶賛される等、日本を代表するヴァイオリニストの一人として注目されている。

県内においても昭和55年、57年母校桐蔭音楽祭において公演するなど本県文化の振興、向上に寄与する。

■現在

東京芸術大学助教授

■主な表彰歴

昭和57年 和歌山市文化奨励賞受賞